

横大路だより 評価号

令和7年10月14日
京都市立横大路小学校

～令和7年度 前半学校評価結果を
お知らせします～

学校教育目標
夢を抱き、生き生きと輝く横大路の子

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。Microsoft Forms を活用して、児童・保護者・教職員の3者とも Web 上で実施させていただきました。前半の学校評価についてご報告させていただきます。「そう思う」「だいたいそう思う」をプラス評価として、「あまりそう思わない」「そう思わない」をマイナス評価として捉えています。表の数字は、プラス評価の割合です。

今回のアンケート分析をもとに、さらに工夫・改善を進めてまいります。今後ともよろしく願いたします。

質問 (①～⑪は、児童の質問項目を記載しています。)	1～3年	4～6年	保護者	教職員
① 学校に来るのは、楽しいですか。	86%	89%	95%	95%
② 自分の思いや考えをもって、自分から進んで学習していますか。	88%	88%	83%	88%
③ 宿題や当番の仕事などを最後までしっかり取り組んでいますか。	89%	89%	81%	83%
④ 先生や友達の話をしっかり聞き、落ち着いて学習に取り組んでいますか。	91%	90%	78%	76%
⑤ 周りの人にやさしくできていますか。	90%	91%	92%	88%
⑥ 自分のことも周りの人のことも大切にしていますか。	93%	94%	95%	88%
⑦ 進んで読書をしていますか。	71%	66%	40%	71%
⑧ 気持ちのよい挨拶ができていますか。	81%	69%	71%	83%
⑨ 学校・学級のきまりや約束を守ることができていますか。	97%	89%	86%	94%
⑩ 早寝・早起きや学習の準備など自分でできていますか。	81%	76%	82%	88%
⑪ いろいろな先生に教えてもらうのは、楽しいですか。	94%	94%	89%	82%
⑫ 学校であったことをおうちの人に話していますか。(児童) ホームページやすぐーるなどで、学校の取組や子どもたちの様子を見ていますか。(保護者) ホームページやすぐーるなどで、学校の取組や子どもたちの様子を発信していますか。(教職員)	71%	55%	61%	47%

自由記述欄より (抜粋)

- ・熱中症が気になります。
- ・いつも丁寧な対応をしていただき、感謝しています。
- ・家での宿題の取組がなかなかスムーズにいきません。
- ・身体計測の結果をすぐほしいです。
- ・子どもたちがけんかをしたら両方の話をしっかり聞いて、嘘を見極めて、ただ怒るのではなくなぜ悪いのかをしっかりと分からせてほしい。泣いているから悪い、嘘をついていないではなく、しっかりと話を両方から聞いて判断してほしいです。
- ・勉強が嫌いで、学校に行きたくないと毎日のように言っています。勉強も少しは頑張してほしいと思うのですが、それ以前に毎日行きたいと思うぐらいに、学校で楽しく過ごしてもらいたいと願います。
- ・学校が楽しいと喜んで通っています。宿題にしっかり取り組んでいます。クラスのお友達とも仲良くしているみたいで、本当にいい環境だと思います。毎日、細かいことまで丁寧に指導や報告などをしてきて本当にありがたいです。これからも引き続き、よろしく願いたします。

アンケート結果より

Q4 先生や友達の話をしっかり聞き、 落ち着いて学習に取り組んでいますか。

	1～3年	4～6年	保護者	教職員
そう思う	60%	59%	24%	0%
だいたいそう思う	31%	31%	54%	76%
あまりそう思わない	7%	8%	21%	24%
そう思わない	1%	1%	1%	0%

授業中、話をしっかり聞き、落ち着いて学習に取り組んでいるかという設問に対し、児童は90%以上ができていていると感じているものの、保護者や教職員は、80%に至っていません。

学習において、指導者や友達の話聞くことは、基本となる力です。話を聞くことで、考えの幅が広がったり、考えを深めたりすることができます。まずは、話の聞き方や学習に向かう姿勢について、児童とのずれをなくしていきます。

さらには、今年度、本校の研究における資質・能力である「主体性・対話力」をつけるためにも、単元・題材を通して対話する力がつけられるよう、授業改善を進めていきます。

Q7 進んで読書をしていますか。

	1～3年	4～6年	保護者	教職員
そう思う	41%	35%	16%	18%
だいたいそう思う	30%	31%	24%	53%
あまりそう思わない	16%	22%	26%	29%
そう思わない	13%	12%	34%	0%

本校では、「一人100冊(1～4年)」や「10000ページ読書達成(5・6年)」を目標に掲げたり、週4回朝読書の時間を設定したりしています。しかし、残念ながら進んで読書をしていると自信をもって答えられる割合が低いことがわかります。

子どもたちに本を好きになってもらおうと、この夏、おはなし(第1)図書館をリニューアルしました。今後、教職員による読み聞かせも企画していく予定です。PTAの取組として、10月に選書会も行います。子どもたちが、本を読みたくなるような環境づくりや働きかけを進めていきます。

学年別図書館の貸出冊数 (R5/R6/R7)

(冊)	令和5年(1年間)	令和6年(1年間)	令和7年(1学期)
1年	2389冊	1756冊	974冊
2年	1976冊	2109冊	645冊
3年	2576冊	1905冊	940冊
4年	3167冊	2835冊	657冊
5年	1889冊	2220冊	683冊
6年	1580冊	785冊	930冊
計	13875冊	計12145冊	計5414冊

目指せ!!

1人

100冊読書!

10000ページ!

Q6 自分のこと周りの人のことも大切にしていますか。

	1～3年	4～6年	保護者	教職員
そう思う	77%	64%	29%	0%
だいたいそう思う	16%	30%	66%	88%
あまりそう思わない	4%	2%	4%	12%
そう思わない	3%	4%	1%	0%

本年度、教育目標に基づいて掲げた「行動の姿」の「自分も相手も大切にする子」に対するプラス評価が、児童・保護者・教職員ともに高かったことは、大変、うれしいことです。

自分のことを大切にすることはもちろんですが、周りの人のことを考えて行動できることは、社会で生きるための大きな力の1つだと考えています。日頃から、ご家庭でも友だちを大切にすることについて声をかけてくださっていることの表れだと思います。Q5の思いやりの心と共に、今後も、いろいろな教育活動を通して、この力を伸ばしていきたいと思えます。

教職員で話し合った今後の改善点

☆読書好きの子どもを育てるための取組を実施する。取組とは、図書館イベントの企画開催、教職員や図書委員会による読み聞かせ、並行読書の推進、本の種類・新書の増量、読書時間の確保(週1回の図書館利用)、学級文庫の更新である。

☆学校の様子を地域・保護者に伝えるために、ホームページアップの時間確保、学校だより・学級だよりへのQRコード記載をする。

☆話をしっかり聞き、落ち着いて学習する子を育てるために、話の聞き方を再確認するだけでなく、その指導を繰り返し行う。

学校運営協議会理事会でのご意見

☆学校の読書環境だけでなく、家庭の読書環境も整えていく必要がある。

☆地域の教育的環境(家庭・学校・児童館・地域)を上げていく必要がある。地域の特色を生かした教育活動が進められるといいのではないかと。

☆大人のものの見方・考え方がそのまま子どもに反映する。今は、「子どもが楽しんでいるからよし」で留まっているため、これからは、教育的見方をさせる言葉がけができる保護者・地域を目指していきましょう。

☆話が聞ける子を育てるためにも、教職員がまず一人一人の子の話をしっかり聞くことが大切ではないかと。また、話を聞きたくなるような子どもに届く授業をしてほしい。